

○16番 田上望花君

泉中学校3年、田上望花です。私は、行橋市の子どもの読書推進について質問します。

私は今、泉中学校で図書委員をしています。本を借りる人や読書をする人が少ないと感じています。小中学校ではデジタル図書館の紹介などありますが、読み放題になっている本は、中学校は個人的に使うことはほとんどなく、使用している人もあまり見ません。

リブリオのデジタル図書は一度に借りられる本が3冊と少なく、予約はできますが、自分の順番になった時にお知らせをしてくれる機能がありません。自分でログインして借りられるかどうか確認する必要がある、タイミングによっては借りられる日数が少なくなってしまう。また、紙の本は、日頃は1人10冊まで、2週間借りられますが、読書を勧めるために借りられる本の冊数や期間を増やしていただくことはできませんでしょうか。

例えば、利用者が限定されそうな学習に利用する図鑑などは長期間借りることができるようにする、移動図書館ゆっくんで借りている本をリブリオ本館で借りられる本の冊数に含めないようにする、などが考えられます。

○後半議長 荒木優丞君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

中学校の図書委員をされる中で、読書をする方が少ないと感じているという問題意識を持たれ、借りられる冊数や期間を増やしてはどうかという、前向きで素晴らしいご提案をいただいたことに、感謝したいと思います。

一人でも多くの方に、たくさんの本に出会ってほしいというお気持ちは、私たち公共図書館を運営する側の願いと全く同じであります。しかしながら、通常期の貸出冊数を現在の10冊からさらに増やしたり、貸出期間を2週間から延ばしたりすることにつきましては、主に三つの課題があり、慎重に検討する必要があります。

まず、第一に公平な利用への影響です。特定の方が一度にたくさんの本を借りてしまうと、他の方が読みたい本が長期間棚からなくなってしまうことになります。公共図書館はみんなの財産であり、できるだけ多くの方が順番に、仲良く分け合って利用していただくために、現在の冊数と期間である、10冊まで、2週間以内というルールを定めております。また、デジタル図書は、読むことができる期間や回数が限られております。多くの方に利用してもらえよう、3冊まで2週間以内の貸し出しとしています。

次に、第二ですが、本を返さないことや紛失のリスクがあることです。大変残念なことです。現在でも期限が過ぎても本が戻ってこないケースや、本を失くしてしまうケ

ースがあります。貸出冊数を増やすと管理が難しくなり、こうした返ってこない本がさらに増えてしまう懸念があります。

第三に、図書館システムの制約です。特定の本の貸出期間を通常の貸出期間から変えることは、システム上対応ができません。また、ゆっくんでの貸し出しシステムは、本館と同じものを使用しており、ゆっくんと本館とでの貸し出し冊数を分けることができません。デジタル図書は、予約後のお知らせ機能がございません。これは、デジタル図書は本を返さないことや紛失のリスクがないので、借りる方の個人情報システム上で管理していないという理由からであります。

以上の理由から、リブリオ行橋では、すぐに貸出冊数を増やしたり、特定の図書の貸出期間を延ばしたりすることが難しいのが現状であります。

一方、学校のデジタル図書館ですが、これは、昨年7月から新たに導入をしたものです。今般、1年間のライセンスが終了するにあたり、選書し直して現在新たなコンテンツにかわっております。選書にあたっては1年間の利用状況等を踏まえて見直しを行っております。初年は小学生向けのコンテンツが多かったのですが、今回は中学生向けのコンテンツも昨年より増やしておりますので、どうぞご利用いただければと思っております。

学校デジタル図書館のコンテンツについては、今後も利用状況等をみながら、できるだけニーズに沿った選書を行ってまいりたいと考えています。以上です。

○後半議長 荒木優丞君

田上議員。

○16番 田上望花君

泉中学校の図書館では、読書につなげる様々な取り組みを行っています。例えば、借りた本を使ったビンゴやクイズ、ゲームを図書館で気軽にできたり、図書館の利用や本の返却でポイントを貯め、貯めたポイントを美術部が作ったしおりや映画フライヤーなどに交換できたり、先生による読み聞かせや、卒業生・在校生によるおすすめの本の紹介などを行っています。通常、一日の利用者が50名程度ですが、催しの時は100名程度になり、大きな効果があると思います。

本を借りる人や読書をする人を増やすために、このような取り組みを、リブリオ行橋や他の学校図書館でできないでしょうか。

○後半議長 荒木優丞君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

ご意見、ありがとうございます。

泉中学校の図書館では、読み聞かせなどの様々な取り組みをされ、その効果も大きいということで、大変すばらしい取り組みだと思っています。図書委員をはじめ、先生、司書、生徒が知恵を絞って取り組んでくださっていることに大変感謝申し上げたいと思います。

普段あまり本を読まない方に対して、図書館で本を並べて待っているだけでは、利用は進みません。しかし、様々な催しをすることで、図書館の存在を知っていただき、一度行ってみたいという新たな動機付けが生まれてまいります。リブリオ行橋では、昨年度は行橋駅前、本と小径とマリンバの午後、というイベントを行い、駅から図書館まで一緒に歩いてもらうフットパスを行ったり、リブリオ行橋でマリンバの演奏を行ったりして、リブリオ行橋の魅力を伝える取り組みを行いました。

また、読み聞かせやおはなし会、リブリオバトル、各種体験講座などの様々な取り組みを行っております。その内容は、毎月リブリオ通信としてロイロノートに配布させていただいておりますので、ご確認いただければ幸いです。

泉中学校で取り組まれているポイントを集めるイベントは、効果があるようで大変興味を持ちました。他の学校に紹介をするとともに、リブリオ行橋でも、本に関する参加型のイベントを今後も実施できるよう、検討してまいりたいと思っています。以上です。

○後半議長 荒木優丞君

田上議員。

○16番 田上望花君

前向きなご回答、ありがとうございます。もっと本を読む人が増えればと思っていますので、これからも様々な行事を行っていけるよう、私たちの学校でも頑張ってまいります。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。